

# 寺報

龍正寺

日なた 216号

心  
の  
と  
心

日  
延



<令和 8年 5月>

宝龍会  
護持会

# 位職一言

日蓮宗新聞の教箋より、書写して皆様にお伝え  
します。

日蓮大聖人御遺文『兄弟鈔』

「心の師とい

なるとも

心を師とせざれ」

池上宗仲、宗長兄弟、それぞれの夫人宛てた  
お手紙、信仰を異にする父は兄の宗仲を二度  
甚力当しますが、日蓮聖人は真の孝養は法華經の  
信仰にありと兄弟を励まし、父もやがて法華經  
信仰に入ることになります。

(解説) 「心の指針となるもの」

「心のおもおくまに…」素晴らしい言葉です。人生に行き  
詰まり生きるのが苦しくなったとき、このような言葉に救われ  
た人も多いでしょう。しかし一方で自分の心に翻弄され、  
何が本当の自分なのかわからなくなり、と孝えてしまうこと  
もあるでしょう。一体何のために生きているのか、希望も

喜びも見いだせなくなってしまうときこそ、私  
たちは“心の指針”が心要ですコロコロと  
変わる自分の心を師とするよりも、心導く  
指針、すなわち“心の師”を持つことが必  
要なのです。

目蓮聖人はどんなときもお釋迦様さまの真  
実の教えである『法華經』を心の指針  
とすることが真の幸せへと至る道だと言  
います。人生に迷い、生きることが辛くなった  
とき、どうか「法華經」の教えに触れてみ  
てください。聽聞ありがとうございます  
真のお題目を唱えて幸せをつかみましょう

合掌

南無妙法蓮華經

## —— 子育ては親育て ——

寒暖差のある日が続いていますが、皆様お変わりありませんか？

我が家は、この4月から長男が大学生に、次男が高校生になりました。

受験は本人はもちろん、家族も気持ちも落ち着かず、新生活がスタートして約1ヶ月、ようやく、気持ちも生活も一段落しているところでは。

お陰様で2人共、希望する進路に進むことができて、感謝の気持ちで一杯です。

特に次男は、中学入学の頃から進路希望は変わらず、やりたい事へ向かって楽しく学生生活を送っています。

何事も積極的にやるような性格ではなかったのですが、少しずつ変化していく息子に、楽しさを感じています。中学時代の部活動は、一年間続けただけで辞めてしまいました。部活動で成績をあげている子達は内申書に記入できますが、次男は特に記入できる事もなく、大丈夫かな...と心配もしていました。

今、学校も塾に行っている事を前提に、進路の話をさしづりする中、次男は塾にも行っていませんでした。

親はつい、他の子と比べてしまいがちです。お上人様  
との言葉の中でも、「大丈夫、やりたい事が決まってい  
る子は強い」とお言葉を頂いたとき、私はソワソワ  
する気持ちを押さえて見守りました。

私が何も言わなくても、やる気スイッチが入り、こちらが  
「レインズだら？」と言いたくなる位の受験勉強をやる  
ようになりました。

合格できた事で、きっと本人も自信がったと思います。  
高校での部活も、好きな事に携われる内容がタ  
なので、本当に良かったと思います。

先日、部活動の総会があり、見学させていたとき  
でしたが、積極的に取り組む姿も見ることで  
息子の変化を感じています。

子どもを信じる事、あまり干渉しすぎない事。

困った時はいつでもサポートしてあげられる体制を  
整えておく事が大切だと親としても勉強させて  
いたいくことができてました。

ありがとうございました。◇◇

## ～ 相手の利点を見つめる ～

運転中ラジオから素敵な話しが聞こえて来ました。それはある兄弟の心温まる話でした。御兄弟の父親の葬儀中、兄嫁が大事なお香典が盗難にあってはいけなないと、お香典が入っていると気づかれない様に菓子箱の中に入れたのですが、その菓子箱が見あたらずなくなりました。その出来事を兄は妻に(用心の善の行動)「そこが君の良い所だけだね。」と微笑み一緒に香典を捜した。その兄の対応に弟さんは感動した。「どのような時も相手の立場になり、冷静に相手の利点を見つめる。亡き父もそのような人でした。」とその話で心が浄化されました。人の欠点は見つけやすいものですよね。その欠点を責めたり、罵る事でお互いの関係は不快なものになります。利点を見つめる事で、相手への思いやり、感動、喜びへ繋がりがより良い関係を築けるのではないのでしょうか。

人との関わりの中で、この人とは…と気の合わない人に対して、欠点が見えると、最悪なほど気分が悪くなる時はありませんか。その合わない人の利点を見つける事で、

「あ～こんな部分もあるんだな～」と気づく事が出来る  
と自分自身の気持ちも軽くなるのではないだろうか？。

このラジオを聴く事が出来た事に感謝です。

色々な方と関わりながら人生を歩んでいます。ならば、自ら  
自分の気持ちも軽くなる様な言葉かけが大切だと思  
いました。自分の言葉のかけ方次第で、周りの人や自分  
自身も心が温まる気持ちになる。

これからの人生に改めて気づきが頂けました。この日は  
さわやかな気分を過ごしました。

## 「生き方」

聖人とは 傲小慢でなく、いつわりなく、言成実  
であれ。人の悪口を言わず、怒ることなく、邪  
な<sup>むさぼ</sup>貧りと、ものおしめを走成えたもの。

眠りともものくささと<sup>ま</sup>塞ぎこむ、じとに打ち勝ち  
また、怠情を宿らせてはならない。

高慢な態度をとってもならない。そして、美し  
いものに愛着を起さずな。小慢心をなくし、粗  
暴になってはいけたい。

さらに、古いものを喜んではいけたい。新しいもの  
に魅了されてはいけたい。滅びゆくものを悲しんで  
もならない。<sup>もうしゅう</sup>妄執にもとらわれてはいけたい。

妄執とは、負欲であり人々にとって走成えがた  
い欲望の激流でもある

だが、これらを乗り越え、正しい行い、正しい  
生活法により、真実から離れず「安らぎ」に立  
つもの… それが聖人である。

マンガのとある場面です(仏教:ブッダ)が、  
どれも当てはまり、直さなくてはいいけない  
と思うが人間感情が邪魔をして いろん

な感情がでて、言葉や、行動として出てしまいます。

生きながらに これらの行い、思いをどれだけ正していけるかが 己の課題であり、修行であると思います。

他人は自分の鏡であるという。

己というのほわかりづらい。他人の行動は、よくわかる。そこで見聞きしたことを己で理解できるかで、この先の人生の生き方、気づきというものがある。

長い道のりではあると思うが1つ1つ行者として「迷わず」精進しようと思う 今日この頃。

五月晴れのさわやかな頃となって  
参りましたが紫外線が気にか  
かります。若い頃より年老いて  
来ました今の方が気にかかります

顔に「しみ」と思ふのです「しみが気にか  
ります」

朝に忘れぬように必ず塗るようにして  
おります。紫外線を気にすることは

まだ健康なのかなーとも思ったりです

1に健康 2に健康 3にも健康...

健康とは心の働きがク 食の働きがク  
の働きであることを若い頃に学びました。

仏縁が頂けましてゴ法話の学びより

こうゆうことの意味がわかりました！！

心の作用がすべての事柄を良くして

ゆげりようです心の財...が何れの  
室...心が整えればすべてのことが  
それなりに整ってゆくことも学びました  
心のあたたかさ 心のゆたかさ...より  
素直で「ハイ」の心で鎮いて明る  
笑顔でおおらかにと思ってみます

若い頃に奈良の薬師寺のお写経に  
良く通いました 100巻達成致し  
ました その時々に管長さんのご法話  
よりの尊いお叱ばが「おー」と心に残  
っております

こたわらず 若い頃は  
とらわれず 深く心に  
かたよらず とめることもなくでい  
ましたか学びの判り

年を重ねました今に心の作用の大切など  
が大なる様に見える様です

明子く笑顔でおおらかに心を少し

楽にお持ち下さいます...

心が楽であれば血流も良くなり健康  
にも良いことも学びましたか何事も

帯に短したすきに長しで思う様

には違はないようにも思ってみます...

昨年の夏頃より間質肺炎を患いました...  
せき込みますと肺が息苦しくなりました

この病いは仏の御はからいか白蓮宗の

5月のカレンダーよりのお叱りです。病よりの  
中で気づきを与えて頂き反省の中で尊い命を

見つめて心を調ひて実ある人生にしてゆき  
ましようと思ひました 妙法蓮華經の

五文字の尊さを有り難く身に届きます

南無妙法蓮華經

合掌

## < 5月の行事予定 >

5月13日(水) 10:00~ 宗祖日蓮大聖人  
伊豆報恩会

17日(日) 13:00~ 大祈禱会

※ 年中予定表 5月18日の祈禱会は、17日の大祈禱会  
と一緒に厳修します。

## < 5月住職の予定 >

寺院ニテ法務

## < 5月の予定 >

5月6日(水)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
12日(火)		
13日(水)	法要後	片付け準備
14日(木)	各々の時間で	清掃準備
↓	↓	↓
16日(土)	9:00~	飾り付け